
夢だけを、ただひたすら

彼方 ヒロ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夢だけを、ただひたすら

【Nコード】

N7299Y

【作者名】

彼方 ヒロ

【あらすじ】

不登校になりかけていた『私』は、ある時ふと、すべてを投げ出してしまおうと決心する。その瞬間、胸の痞えが取れるのを感じた。
。ただ衝動的に書き綴った、ショートショートストーリーです。心の動きがころころ変わってしまう点につきましては、どうかご了承ください（汗）

「何もしたくない。何も見たくない。聞きたくない。考えたくない」
そんな悲痛な叫びを、何度も心の中で繰り返していた。辺りは変わらず真つ暗なままで、布団の上で上がる、自分のくぐもつた吐息が、何度も何度も耳の中で反響していた。

もうあそこには戻りたくない、と泣きながらつぶやいた。もし、このままあそこに戻ったならば、私の心はズタズタに引き裂かれて立ち上がれなくなってしまうだろう。私が自身で望んだ場所ではないから、そこにいるだけで自分だけが取り残されて孤立しているように感じてしまう。

苦しいだけならば、あそこへ行く必要はあるのだろうか、と誰にともなく問いかける。私が進学校を退学すると言えば、あの両親はどんなことをするだろうか、と震えながら想像した。

頬を打ち据えられ、食事を取れずに飢え、やがて暗闇へと放り込まれるだろう。そして何時間も、心が麻痺するまで、懺悔の言葉を吐き続けることになるのだ。

こんな仮病は、すぐにはれる時が来る。もうこの家を飛び出し、どこか遠くへ逃げるしかなくなるだろう。ならば今のうちに、逃げ出してしまえばいいのではないか、と誰かの言葉が囁かれる。

自分の人生は、自分の意志で決めなければならぬ、とその誰かは言う。自分の手で築いて、その時初めて人生に価値が生まれる、とその人は繰り返す。

胸の中に、何か燃え滾るような熱が生まれた。それは徐々に大きくなって、息を乱れさせて鼓動を暴れさせて、気付いた時には私は何かを叫びながら布団から立ち上がっていた。

この檻から飛び出そうと、頭の中で誰かの声が反響する。そうして、私はただ衝動に任せて着替え、部屋を飛び出した。

誰かに背中を強く押されているような、そんな感覚だけが、ひた

すら私の足を突き動かした。

私はリビングの前を通り過ぎ、そのまま外へと飛び出した。すべてを投げ出して、自分の為に生きてやるんだ　　そう決心した時、突然体が宙に浮き上がった心地がした。

もし、誰かにおかしいと言われて蔑まれ、自分の選択が間違っているのではないかと疑うことになったとしても、それが他ならぬ自分の願いであるならば、否定する必要は決していないのだ、と思う。他ならぬ、私が選んだ道をただ進みたいよ、と自然に言葉が漏れる。もう、誰かからこの意志を奪われたくない、自分の好きな夢だけを追っていたい……そんな言葉がどんな声にもならないまま、嗚咽となって零れ落ちる。

私はいつしか足を止めていた。この答えを見つけることができた……それだけでもう、生きていけるんじゃないか……そう思った瞬間、すぐに胸の痞えが取れ、堰きとめた水が一気に流れるように、乱れた呼吸が落ち着いていった。

涙で歪んだ視界が美しく澄み、その鼓動が穏やかになっていく。私の口元が独りでに動き出し、そっと微笑みを形作ったのがわかった。それは本当に懐かしい感覚で、大切な何かをようやく取り戻したような気がした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7299y/>

夢だけを、ただひたすら

2011年11月21日22時42分発行